

第4編 認知症の理解

❖ 事例

Bさん(78歳、女性)は、アルツハイマー型認知症で、1か月前に特別養護老人ホームに入所しました。食事の時間に食堂へ誘導しますが、Bさんは興奮し、きょろきょろと周囲を見回して全く食べようとしません。職員はカンファレンスで話しあい、入所前の様子を家族から詳しく聞きとることにしました。

Bさんは、長年一人暮らしで、自分のお気に入りの場所で、ゆっくりと食事をしていたようでした。また、時々近所の友人宅に招かれて食事を一緒にすることもあったようです。穏やか人柄ですが、社交的な方ではなく、地域の活動なども「みんながやるなら私もやる」という様子だったとのこと。このことから職員は、Bさんが普段よく座っている場所や一緒にいる利用者など、生活スタイルを観察することにしました。

【観察から分かったこと】

- ・外の景色を見ていることが多い。
- ・職員が間に入ると他の利用者に関わるが、普段は一人であることが多い。
- ・活動には集中して取り組みたい。(例 おしぼり畳みをしていると、他の利用者の動きが気になる)
- ・自分の物と他の利用者の物が混同することがある。

ステップ1 アルツハイマー型認知症についてまとめてみよう!

<脳病変の特徴>

<症状の現れ方>

↓ 追加で調べたいことをまとめてみよう



ステップ2 Bさんについてまとめてみよう!

健康状態()

性格(好きなことやこだわり等)

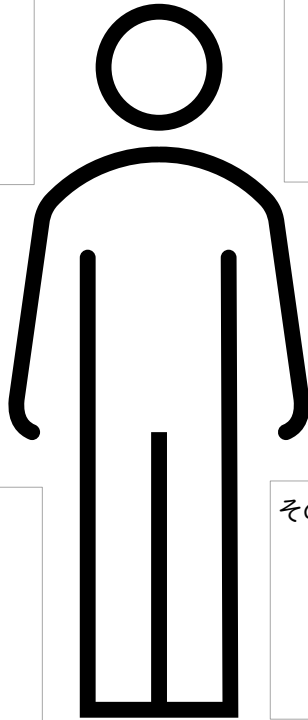
()

現在の心身の状況()

現在の生活状況()

生活歴()

その他()



ステップ3 Bさんに心地よく食事を摂っていただく方法を考えよう!

理由を考えよう

・Bさんが興奮して、きょろきょろしてしまうのはなぜだろうか?

対策案

・対策(具体的に考えてみよう)

その根拠

・なぜその対策がBさんにとって良いのだろうか?

第4編 認知症の理解

ステップ4 情報交換

()さんの意見	
()さんの意見	
()さんの意見	

自由記述欄

共通点を書き出してみる / 新たな発見を書き出してみる / 反対意見を書き出してみる など

ステップ5 グループでのまとめ

理由を考えよう	・Bさんが興奮して、きょろきょろしてしまうのはなぜだろうか？
対策案	・対策（具体的に考えてみよう）
その根拠	・なぜその対策がBさんにとって良いのだろうか？

ステップ6 他者の発表のメモ

ステップ7 振り返り
